

補助事業概要

公益財団法人ツール・ド・北海道協会では、平成29年度競輪公益資金による補助を受けて、次のとおり事業を実施しました。

- ・補助事業名「平成29年度 自転車競技の普及促進及び競技力の向上に資する補助事業」

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

自転車ステージレース「ツール・ド・北海道」は、自転車競技選手、特に大学生などの若手選手の競技力向上を図るとともに、自転車競技の普及促進、サイクルスポーツの普及・振興、地域の観光、産業の振興・活性化等に資することを目的として実施しています。

(2) 実施内容

「ツール・ド・北海道2017の開催」 (<http://www.tour-de-hokkaido.or.jp>)

平成29年9月8日から9月10日までの3日間、函館市を中心とする北海道の道南地域2市7町において、UCI（国際自転車競技連合）公認の国際大会として、海外・国内から20チーム・選手98名が参加し、一般公道を使用した町から町へと巡る本格的ロードレースを実施しました。総走行距離424km。最終日、第3ステージのフィニッシュは「函館山山頂」。道南地域の美しい自然環境を舞台に、終始白熱したレースが展開されました。



9/8 第1ステージ 函館市
函館競輪場をスタートする選手達



9/9 第2ステージ 木古内町
フィニッシュ地点のJR木古内駅前を目指し、集団でのゴールスプリント



9/10 第3ステージ 函館山登山道手前の護国神社坂を
駆け登る選手団



9/10 第3ステージ 函館山山頂フィニッシュを制した
ガルシア マルコス（キナンサイクリングチーム、個人
総合時間賞）



個人総合山岳賞 （9/10 函館市）
富尾 大地（鹿屋体育大学）
ツール・ド・北海道で、大学生として初めて個人総合山岳
賞を獲得。



個人総合ポイント賞 （9/10 函館市）
岡本 隼（愛三工業レーシングチーム、日本大学4年生）

2 予想される事業実施効果

ツール・ド・北海道の開催により、自転車競技選手、特に大学生などの若手選手の競技力向上を図り、オリンピック等の国際大会で活躍できる選手の人材育成に資するとともに、自転車競技人口の裾野拡大、サイクルスポーツの普及・振興や近年のサイクルツーリズム推進の取組等と相まって地域の観光、産業の振興・活性化、自転車利用に係る道路交通環境の整備促進等にも寄与するものです。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

(<http://www.tour-de-hokkaido.or.jp/2017/index.html>)

- ・ポスター（A1判、A2判） 6,000枚
- ・ガイドブック 10,000部
- ・テクニカルガイド 500部
- ・交通規制チラシ 45,000枚
- ・事業報告書 500部



ツール・ド・北海道2017
ポスター

(2)(1) 以外で当事業において作成したもの
該当なし。

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益財団法人ツール・ド・北海道協会（ツールドホッカイドウキョウカイ）

住 所： 〒060-0005

札幌市中央区北5条西6丁目1-23 第二道通ビル5階

代 表 者： 理事長 山 本 隆 幸（ヤマモト タカユキ）

担 当 部 署： 事務局（ジムキョク）

担 当 者 名： 事務局長 和 田 俊 博（ワダ トシヒロ）

電 話 番 号： 011-222-5922

F A X： 011-232-4604

E - m a i l： wada@tour-de-hokkaido.or.jp

U R L： <http://www.tour-de-hokkaido.or.jp>